CITIZEN®

取扱説明書

このたびは、シチズンウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要の際にご覧ください。

シチズンのホームページ(http://citizen.jp/)でも操作方法がご覧いただけます。また、モデルによっては、外装機能(計算尺、タキメーターなど)が搭載されている場合があります。取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も、同様にご覧いただけます。

機種番号の見かた

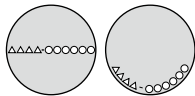
時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。(右図)

この番号を「側番号」と言います。側番号の先頭の4桁が機種番号になります。

右の例では「△△△△」が機種番号です。

刻印の位置の例

△△△△-○○○○○○

△△△△-○○○○○○

時計によって表示位置は異なります。

安全にお使いいただくために—必ずお読みください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、***48***～***59***ページを必ずお読みください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

この時計の特長

アナログ表示とデジタル表示のコンビネーションウォッチ

1/1000秒単位のラップタイム計測（→**24**ページ）、計測記録はメモ機能が保存（→**28**ページ）

Eco-Drive 光で動く、電池交換いらずのエコ・ドライブ

世界43都市の時刻がわかるワールドタイム（→**30**ページ）

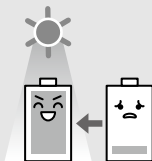
この時計は、光をエネルギーにして動きます。
長時間光に当てないと、充電不足で時計が停止します。
充電方法については**14**ページをご覧ください。

ご使用になる前に

充電の状態を確認する

時計の充電が十分かどうか、次のことを確認してください。

時計をお使いいただけます。

- 時刻･カレンダーを合わせるときは、**20** ページをご覧ください。

この時計は、文字板に光を当てて充電します。

時計を快適にお使いいただくために、時計に光をこまめに当てて充電してください。

充電については**14** ページをご覧ください。

時計を快適にお使いいただくために、次のことを行ってください。

- 月に一度は長時間直射日光に当てて、5 ～ 6 時間充電してください。
- 光の当たらない場所での長期保管は避けてください。

バンド調整について

お客様ご自身で時計のバンド(金属やゴム)の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。(製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く)

バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

保護シールについて

時計のガラスや金属部分(裏ふた、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた

モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

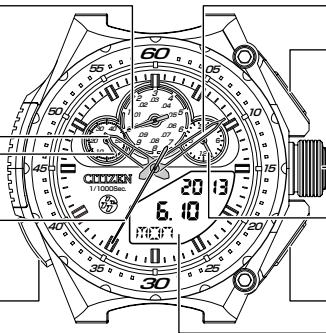
ねじロックりゅうず・ねじロックボタン

時計を操作するときは、ロックを解除してください。

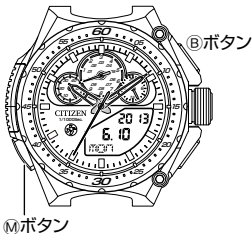
	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	りゅうずが飛び出すまで、左に回す	りゅ 押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロックボタン	ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	ねじを右に回し、しっかり締める

目次

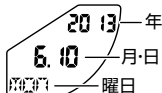
各部の名称

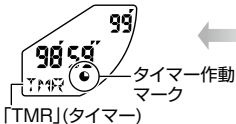
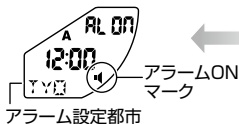
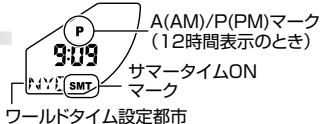
1/10秒クロノ針
1/100秒クロノ針
分針
Ⓑボタン
時針
秒クロノ針
りゅうず
秒針
24時間針
Ⓜボタン
Ⓐボタン
デジタル部
CITIZEN
1/1000Sec.

- ソーラーセルが文字板の下に配置されています。
- お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

デジタル部のモードを切り替える

1. Ⓜ**ボタンをくり返し押して、モードを切り替える**

時刻·カレンダーモードまたはワールドタイムモードの表示中にⒷボタンを押すと、デジタル部の照明が2秒間点灯します。

時刻·カレンダーモード

（→**20**ページ）

タイマーモード

（→**36**ページ）

クロノグラフモード
（→22ページ）
レースモード
（→24ページ）
メモモード
（→28ページ）
「CHR」(クロノグラフ)
「RAC」(レース)
記録の種類
アラームモード
（→34ページ）
ワールドタイムモード
（→30ページ）
A(AM)/P(PM)マーク
（12時間表示のとき）
アラームON
マーク
サマータイムON
マーク
アラーム設定都市
ワールドタイム設定都市

充電について

充電不足になると:充電警告機能

充電不足になると、充電警告機能(①·②)が順に働き、充電が必要であることを知らせます。文字板を光に当てて充電してください。

充電警告時の時計の動作
充電不足になると:充電警告機能① デジタル部に「XX」(充電警告①マーク)が表示され、1/10秒クロノ·1/100秒クロノ針が動作しなくなります。(秒クロノ針は動作します。)
さらに充電不足になると:充電警告機能② 秒針が2秒毎に動き、設定や確認の操作ができなくなります。 • 充電警告②中は、アラーム音は鳴りません。 • 2秒運針が約3日以上続くと、充電不足で時計が停止します。

	充電が進むと：
2013 6.10 充電警告① マーク	デジタル部の「XX」が消えます。
CITIZEN 1/1000Sec. 2秒運針	秒針が1秒毎に動くようになります。 • デジタル部の「XX」が消えるまで、充電を続けてください。

環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ(lx、ルクス)	充電時間(約)		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外(晴天)	100,000	3分	40分	30時間
屋外(曇天)	10,000	12分	2時間	60時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	40分	5時間	200時間
屋内照明	500	4時間	35時間	−

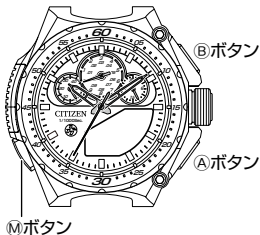
- **直射日光での充電をおすすめします。**蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが不十分です。

- 直射日光での充電をおすすめします。蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが不十分です。
- 充電完了後、充電しないで時計が停止するまで
  パワーセーブが作動しているとき: 約7 年
  パワーセーブが作動しないとき: 約8 カ月
- 充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで: 約3 日

過充電防止機能

- 充電が完了すると、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。
- どんなに充電しても二次電池や、時間精度、機能、性能などに影響を及ぼす心配はありません。

パワーセーブ機能

文字板に光が当たらない状態が一定の時間続くと、パワーセーブ機能が働き、電池の消耗を抑えます。この時計には2つのパワーセーブ機能(①·②)があります。

パワーセーブ機能が働く条件
文字板に光が当たらない状態が30分間以上続いたとき:パワーセーブ機能①
文字板に光が当たらない状態が7日間以上続いたとき:パワーセーブ機能②

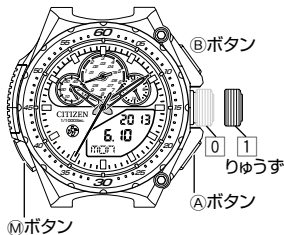
注意

パワーセーブ機能が解除された後に秒針が2秒毎に動いている場合は、時計を充電してください。（→**14**ページ）

	時計の動作	解除方法
	デジタル部の表示が消灯する	文字板に光を当てる、またはいずれかのボタンを押す
	デジタル部の表示が消灯し、全ての針が基準位置で停止する	文字板に光を当てる • 時･分･秒･24時間針が動き、現在の時刻を表示します。 • 正しい時刻が表示されない場合は、時刻･カレンダー合わせを行ってください。（→**20**ページ）

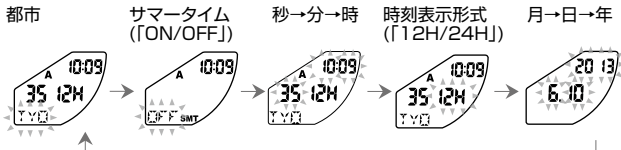
時刻･カレンダーを合わせる ー 時刻･カレンダーモード

都市の略称は「都市名一覧表」
（→**32**ページ）でご確認ください。

- 時刻･カレンダーモードで合わせる都市と時刻がこの時計のホームタイムです。
- アナログ部の時刻はデジタル部の設定に連動し、ホームタイムを表示します。

1. **Ⓜボタンを押して時刻･カレンダーモードに切り替える**

2. **りゅうずの位置を1にする**

秒針が0秒の位置 に移動し、全ての針が停止します。
都市名が点滅します。

3. **Ⓜボタンを押して設定する項目に切り替え、ⒶまたはⒷボタンを押して値を変える**

- ⒶまたはⒷボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
- サマータイムON/OFF、秒、時刻表示形式の設定はⒶボタンを使います。

4. **設定が終わったら、りゅうずの位置を0にする**

設定した時刻に針が移動します。

- 設定の途中でりゅうずの位置を0にしても、それまでの設定内容は有効です。
- 針が移動している間は、ボタン操作は行えません。

クロノグラフ機能を使う ― クロノグラフモード

各クロノ針は、通常は「0/.00」「0(または60)」で停止しています。

1/1000秒単位で、最長23時間59分59秒999まで計測することができます。

- 計測時間が23時間59分59秒999を過ぎると、計測を停止し、計測時間がリセットされます。
- 計測を開始(または再開)して60秒が経過すると、1/10秒クロノ・1/100秒クロノ針が「0/.00」の位置で停止します。
- 1/10秒クロノ・1/100秒クロノ針が停止すると、計測を継続したままモードを切り替えられるようになります。このとき、レースモードとメモモードには切り替わりません。

1. **Ⓜボタンを押してクロノグラフモード(「CHR」)に切り替える**

- 各クロノ針が「0/.00」「0（または60）」を指していない場合は、基準位置を修正してください。（→**41**ページ）

2. **Ⓑボタンを押して計測を開始する**

- 計測中にⒶボタンを押すと、押すごとにスプリットタイムが10秒間表示されます。

3. **Ⓑボタンを押して計測を停止する**

- もう一度Ⓑボタンを押すと計測が再開されます。
- 停止中にⒶボタンを押すと計測時間がリセットされます。

ラップタイムを計測する ー レースモード

ラップタイムと各ラップの平均時速を計測することができます。計測記録のうち、最新の20回分がメモモードに保存されます。（→**28**ページ）

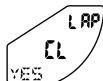
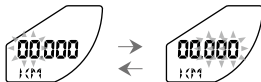
■コースの距離を設定する

- コースの距離を設定することにより時速が算出されます。
（設定範囲:0～99.999km）
- 距離を設定すると、メモモードに保存されている計測記録が消去されます。計測記録が消去される前に設定を中断するときは、**21**ページの手順***3***を行う前にりゅうずの位置を⓪にします。

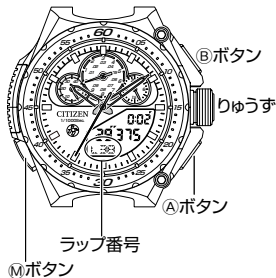
1. **Ⓜボタンを押してレースモード（「RAC」）に切り替える**

2. **りゅうずの位置を1にする**

3. **Ⓐボタンを押して「YES」を表示させ、Ⓜボタンを2秒以上押す**

これまでの計測記録が消去され、前回の距離が表示されます。

4. **ⒶまたはⒷボタンを押して数値を合わせ、Ⓜボタンを押して位を切り替える**

- ⒶまたはⒷボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

5. **設定が終わったら、りゅうずの位置を0にする**

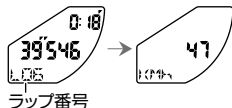
■ラップタイムを計測する

- 計測記録のうち、最新の20回分がメモモードに保存されます。(→**28**ページ)
- 時速を算出させるには計測前にコースの距離を設定します。(→**24**ページ)
- ラップ番号は「99」を越えると「01」にもどり、記録が上書きされます。
- 計測中にモードを切り替えることはできません。

1. **Ⓜボタンを押してレースモード(「RAC」)に切り替える**

2. **Ⓑボタンを押して計測を開始する**

3. **Ⓐボタンを押してラップタイムを計測する**

Ⓐボタンを押すごとに、ラップタイムとラップ番号（「01」～「99」）が7秒間、次に時速が3秒間表示されます。

- 時速の表示は「999」までです。それ以上の場合は「---」と表示されます。

4. **Ⓑボタンを押して計測を停止する**

ラップタイムとラップ番号、次に時速が表示されたあと、経過時間の合計が表示されます。

- もう一度Ⓑボタンを押すと計測が再開されます。
- 停止中にⒶボタンを押すと計測時間がリセットされます。

計測記録を見るときは

メモモードに切り替えます。（→**28**ページ）

レースモードの計測記録を見る ― メモモード

計測後に、最新の計測記録を20回分まで見ることができます。

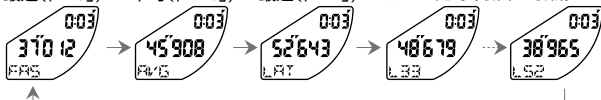
■計測記録を見る

最大20回分の計測記録から、最速、平均、最遅のラップタイムが表示されます。

1. **Ⓜボタンを押してメモモードに切り替える**

「FAS」が表示されます。

- 計測記録がないときは「--」が表示されます。

2. Ⓐボタンを押して保存された計測記録を見る

- ラップタイムの表示中にⒷボタンを押すと、時速が3秒間表示されます。
- 「FAS」と「LAT」は、ラップ番号と交互に表示されます。

■計測記録を消去する

1. Ⓜボタンを押してメモモードに切り替える

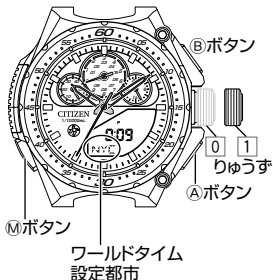
2. りゅうずの位置を1にする

3. Ⓐボタンを押して「YES」を表示させ、Ⓜボタンを2秒以上押す

計測記録が消去され、「--」が表示されます。

4. りゅうずの位置を0にする

他の都市の時刻を見る ― ワールドタイムモード

世界43都市とUTCの中から都市を選んで、時刻を見ることができます。

- ワールドタイムの時刻はホームタイムとの時差をもとに算出されます。
- りゅうずの位置が0のときにⒶ·Ⓑボタンを同時に押すと、表示中のワールドタイムの都市とホームタイムの都市を入れ換えることができます。
- サマータイムの設定は都市ごとに行います。

都市の略称は「都市名一覧表」(→**32**ページ)でご確認ください。

■都市を選ぶ

1. **Ⓜボタンを押してワールドタイムモードに切り替える**

2. **りゅうずの位置を1にする**

3. **ⒶまたはⒷボタンを押して都市を選び、Ⓜボタンを押してサマータイムの設定に切り替える**

- ⒶまたはⒷボタンを押し続けると表示が連続して変わります。

4. **Ⓐボタンを押してサマータイムON/OFFを設定する**

5. **りゅうずの位置を0にする**

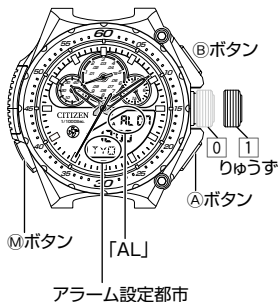
都市名一覧表

略称	都市名	時差	略称	都市名	時差
UTC	協定世界時	±0	DXB	ドバイ	+4
LON	ロンドン		KBL	カブール	+4.5
MAD	マドリード	+1	KHI	カラチ	+5
PAR	パリ		DEL	デリー	+5.5
ROM	ローマ		DAC	ダッカ	+6
BER	ベルリン		RGN	ヤンゴン	+6.5
CAI	カイロ	+2	BKK	バンコク	+7
ATH	アテネ		SIN	シンガポール	+8
JNB	ヨハネスブルグ		HKG	香港	
MOW	モスクワ	+3	BJS	北京	
RUH	リヤド		TPE	台北	
THR	テヘラン	+3.5	SEL	ソウル	+9

略称	都市名	時差	略称	都市名	時差
TYO	東京	+9	LAX	ロサンゼルス	–8
ADL	アデレード	+9.5	DEN	デンバー	–7
SYD	シドニー	+10	MEX	メキシコシティ	–6
NOU	ヌーメア	+11	CHI	シカゴ	
AKL	オークランド	+12	NYC	ニューヨーク	–5
SUV	スバ		YMQ	モントリオール	
MDY	ミッドウェー	–11	SCL	サンティアゴ	–4
HNL	ホノルル	–10	RIO	リオデジャネイロ	–3
ANC	アンカレッジ	–9	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島	–2
YVR	バンクーバー	–8	PDL	アゾレス諸島	–1

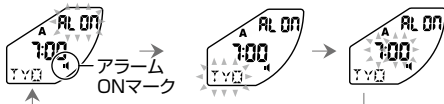
国の事情により、時差や都市名は変わる場合があります。

アラーム機能を使う － アラームモード

都市を選び、その都市の時刻にアラームを設定することができます。

りゅうずの位置が0のときにⒶボタンを2秒以上押すと、アラーム音を最長で10秒間試聴(モニター)することができます。

1. **Ⓜボタンを押してアラームモード(「AL」)に切り替える**

2. **りゅうずの位置を1にする**

3. Ⓜボタンを押して設定する項目に切り替え、ⒶまたはⒷボタンを押して値を変える

- アラームON/OFFの設定はⒶボタンを使います。
- 都市、アラーム時刻の設定時は、ⒶまたはⒷボタンを押し続けると表示が連続して変わります。

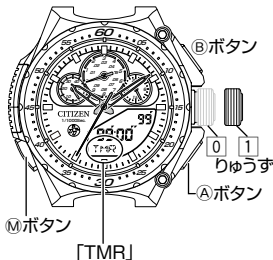
4. 設定が終わったら、りゅうずの位置を0にする

設定時刻になると

アラーム音が15秒間鳴ります。

- いずれかのボタンを押すと、アラーム音は止まります。

タイマー機能を使う ー タイマーモード

1分から99分まで、1分刻みでタイマーを設定することができます。

1. **Ⓜボタンを押してタイマーモード（「TMR」）に切り替える**

前回の設定時間が表示されます。

- 設定時間を変えないときは手順***5***に進みます。

2. **りゅうずの位置を1にする**

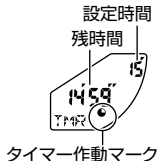
3. **ⒶまたはⒷボタンを押してタイマーの時間を設定する**

- ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

4. **設定が終わったら、りゅうずの位置を0にする**

5. **Ⓑボタンを押してタイマーを作動させる**

「◐」(タイマー作動マーク)が表示されます。

- Ⓑボタンを押すごとに、作動または停止します。
- タイマー作動中にⒶボタンを押すと、設定時間の始めからカウントダウンを再開します。
- タイマー停止中にⒶボタンを押すと、設定時間にもどります。

タイマー作動中にモードを切り替えても、カウントダウンは継続されます。

設定時間が過ぎると

タイムアップ音が5秒間鳴ります。

- いずれかのボタンを押すとタイムアップ音が止まり、設定時間にもどります。

困ったときは

困ったときは以下の項目をご確認ください。

時計の状態	対処方法	詳細ページ

針の動きがおかしい

時計の状態	対処方法	詳細ページ
秒針が2秒毎に動く	充電不足です。充電すると、1秒毎に動くようになります。	**5, 14**
1/10秒クロノ・1/100秒クロノ針が動作しない	充電する	
全ての針が停止している	りゅうずの位置を[0]にする	**20**
	充電する	**5**
アナログ部の時刻が正しく表示されない	基準位置を確認・修正する	**41**
各クロノ針が「0/.00」「0（または60）」の位置にもどらない		

時計の状態	対処方法	詳細ページ
時計をケースなどから出した途端に針が高速で回りだす	パワーセーブの解除中です。時刻が表示されるまでお待ちください。	**18**

デジタル部の表示がおかしい

時計の状態	対処方法	詳細ページ
時計をケースなどから出したとき、デジタル表示が全て消灯している	パワーセーブ中です。文字板に光を当てるか、いずれかのボタンを押すと、パワーセーブは解除されます。	**18**
モードが切り替わらない	クロノグラフモードまたはレースモードの計測を停止する	**22, 24**
「**XX**」が表示される	充電不足です。表示が消えるまで充電してください。	**5, 14**

次のページへ

時計の状態	対処方法	詳細ページ

その他

時計の状態	対処方法	詳細ページ
アラーム音が鳴らない	アラームの設定を確認する	**34**
	充電する	**5, 14**
時計が異常な表示や動作をする	オールリセットを行う。 それでも正しく動かないときは、お買い上げ店または最寄りの弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。	**46**
「困ったときは」(**38**〜**40**ページ)の対処にしたがっても、時計が正しく動かない		
「充電時間の目安」(→**16**ページ)にしたがって充電しても、すぐに止まる	お買い上げ店または最寄りの弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。	**–**

基準位置の確認･修正

■基準位置を確認する

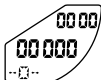
基準位置が正しいかどうかを確認してください。

次のような場合にも、基準位置の確認･修正を行います。

- 時刻合わせを行ってもアナログ部の時刻が正しく表示されない
- 計測時間をリセットしたときに各クロノ針が「0/.00」「0（または60）」を指していない

1. **Ⓜボタンをくり返し押してクロノグラフモード（「CHR」）に切り替える**

2. りゅうずの位置を1にする

「0」が表示され、全ての針が現在の基準位置に移動して停止します。

3. 基準位置を確認する

- 正しい基準位置を表示していない場合は、**44**ページの手順***3***に進みます。

4. りゅうずの位置を0にして確認を終了する

アナログ部に現在の時刻が表示されます。

正しい基準位置

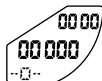
①秒クロノ針が「0（または60）」を指している
②1/10秒クロノ・1/100秒クロノ針が「0/.00」を指している
③時・分・秒針が12時の位置を指している
④24時間針が「24」を指している

■基準位置を修正する

時刻合わせを行ってもアナログ部の時刻が正しく表示されない場合や、計測時間をリセットしたときに各クロノ針が「0/.00」「0（または60）」を指していない場合は、基準位置を修正してください。

1. **Ⓜボタンを押してクロノグラフモード(「CHR」)に切り替える**

2. **りゅうずの位置を1にする**

「0」が表示され、全ての針が現在の基準位置に移動して停止します。

- 正しい基準位置（「0時0分0秒」・「計測時間0」）を表示しているときは、**45**ページの手順***5***に進みます。

次のページへ

1/10秒クロノ・1/100秒クロノ針

24時間針

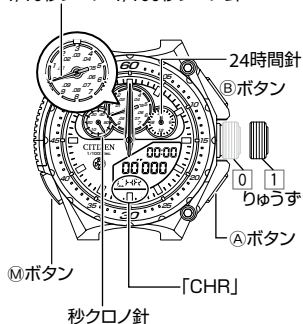
Ⓑボタン

0　1

りゅうず

Ⓐボタン

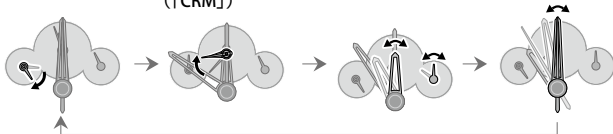
Ⓜボタン

「CHR」

秒クロノ針

イラストは正しい基準位置を表示しています。

3. **Ⓑボタンを2秒以上押す**

「CRS」が表示されます。

4. **Ⓜボタンを押して修正する針に切り替え、ⒶまたはⒷボタンを押して針の位置を調節する**

- Ⓜボタンを押すごとに、修正できる針が動いてお知らせします。
- Ⓐまたは Ⓑボタンを押し続けると、針が連続して動きます。
- クロノ針の修正はⒷボタンを使います。
- 1/10秒クロノ・1/100秒クロノ針、時・24時間針の修正時は、秒・分針が−3分30秒ぶん移動し、修正する針を見やすくします。

5. 修正が終わったら、りゅうずの位置を[0]にする

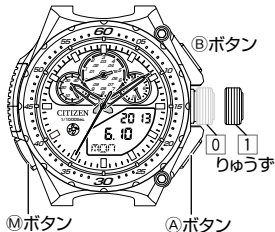
アナログ部に現在の時刻が表示されます。

オールリセット

静電気や強い衝撃の影響で、時計が正しく動かないことや、異常な表示をすることがあります。このような場合、オールリセットを行ってください。

注意

オールリセットを行うと、メモモードの計測記録が消去され、各モードの表示は右の表のようになります。

1. **りゅうずの位置を1にする**

2. **Ⓐ・Ⓑ・Ⓜボタンを同時に1回押す**

確認音が鳴り、「0」が表示されます。

3. **基準位置を修正する**

44ページの手順***3***から手順***5***を行います。

オールリセット後は、各モードの表示が下の表のようになります。時刻・カレンダー合わせなど、必要な設定を行ってください。

■オールリセット後の各モードの表示

モード	表示
時刻・カレンダーモード	2008年1月1日/火曜日
クロノグラフモード	0:00:00:000
レースモード	0:00:00:000
メモモード	--
ワールドタイムモード	AM12時00分/都市:UTC
アラームモード	AM12時00分/アラームOFF/都市:UTC
タイマーモード	99分

エコ・ドライブ取り扱い上の注意

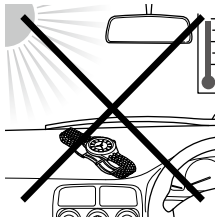
《時計は常に充電を心がけてお使いください》

■ 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
■ 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意　充電上の注意

- 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約60℃以上）での充電は避けてください。
例）
- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電

※ 白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。

- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

《二次電池の交換について》

・この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
・一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告 指定の二次電池以外は使わないでください

・この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

防水性能について

警告　防水性能について

- 時計の文字板もしくは裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。（1barは約1気圧に相当します）
- WATER RESIST（ANT）×× barはW.R.×× barと表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示 文字板または裏ぶた	仕様
非防水時計	ー	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	W. R. 5 bar	5気圧防水
	W. R. 10/20 bar	10気圧防水、20気圧防水

・日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計（10/20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

	使用例				
	水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
	×	×	×	×	×
	○	×	×	×	×
	○	○	×	×	×
	○	○	○	×	×

お取り扱いにあたって

⚠ 注意　人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意　使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

＜バンドについて＞

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります(脱色、接着はがれ)。また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質（化粧品など）が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
  - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
  - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

- アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。
  磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

＜ショックについて＞

• 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

＜静電気について＞

• クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

＜化学薬品・ガス・水銀について＞

• 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

＜保護シールについて＞

• 時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠ 注意　時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
  汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。
  金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く)などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ(輝度)は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービスについて

<保証について>

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

<修理用部品の保有期間について>

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

<修理可能期間について>

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。

<ご転居・ご贈答品の場合>

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

＜定期点検(有償)について＞

・防水性能について
防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2〜3年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。

・分解掃除(内装修理)について
腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除(内装修理)が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として3〜5年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

製品仕様

機種	U700
型式	コンビネーションソーラーパワーウオッチ
時間精度	平均月差±15秒　常温(+5℃～+35℃)携帯時
作動温度範囲	0℃～+50℃
表示機能	アナログ部 •時刻:時・分・秒・24時間表示 •クロノグラフ:秒・1/10秒・1/100秒 デジタル部 •カレンダー:年・月・日・曜日 •クロノグラフ(スプリットタイム) •レース(ラップタイム・時速) •レースメモ(ラップタイム・時速) •ワールドタイム •アラーム •タイマー

持続時間	フル充電後、一度も充電しないで時計が停止するまで: •約7年(パワーセーブ機能が働いたとき) •約8ヶ月(パワーセーブ機能が働かなかったとき) 充電警告②が始まってから時計が停止するまで:約3日
使用電池	二次電池　1個
付加機能	•パワーセーブ機能(①·②)(節電状態) •過充電防止機能 •充電警告機能(①·②:2秒運針) •サマータイムON/OFF •フルオートカレンダー(2099年12月31日まで) •LED照明機能

製品仕様は、改良のため、予告なく変更することがあります。

用語解説

用語（掲載ページ）	解説
AVG（29）	AVERAGE: 平均。
FAS（28）	FASTEST: 最も速い。
LAT（29）	LATEST: 最も遅い。
UTC（30、32、47）	Coordinated Universal Time: 協定世界時。国際協定によって維持されている、世界各都市の時刻の基準時です。
サマータイム（13、21、30）	日照時間が長くなる夏の期間だけ時刻を1時間進めて、夏時間とする制度。時期および実施の有無は、国や地域によって異なります。
スプリットタイム（23）	同一のスタート地点からの経過時間。

用語（掲載ページ）	解説
フルオートカレンダー **（63）**	2月29日を含め、毎月末のカレンダー修正を自動で行う機能。
ホームタイム **（20、30）**	2つ以上の時刻が表示されるときに、主に使用する時刻。
ラップタイム **（3、24、26、29）**	区間タイム（直前に測定した瞬間をスタート地点とした経過時間）。
基準位置 **（19、23、38、41、46）**	アナログ部（各針）の表示の基準となる、「0時0分0秒」・「計測時間0」のときの表示。基準位置がずれていると、時刻・計測時間が正しく表示されません。